

2023年度日本語ボランティアブラッシュアップ講座 「生活Can doを知り、自分の支援に取り入れてみよう！」

主催：(公財)横浜市国際交流協会

外国人の受け入れが進む中、日本語学習、教授、評価のための枠組み「日本語教育の参照枠」が示されるなど、国における日本語教育の整備が進んでいます。

そんな中、今回は人材育成コーディネーターの吉田聖子さんをむかえ、日常生活において想定される言語活動「～できる」という表現で例示した「生活Can do」を中心に学びました。この講座ではグループワークを多く取り入れ、参加者同士の交流も図りました。参加者への事前のアンケートでは、「生活Can do」の内容について知りたい、どのように支援に取り入れればいいのか、教授法や授業の組み立て方を知りたいと多くの声が聞かれました。4回のグループトークの中では、2つの場面で必要な日本語について考え、活発な意見交換をしました。普段マンツーマンで支援されている方が多く、他の支援者の話を聞くことができ、とても参考になったようです。現在はテキストを使って支援しているため、新しいやり方を取り入れるのは難しいとの声も聞かれましたが、講師から「生活Can doは、ケーキを土台からスポンジ、クリーム、苺と積上げていくのではなく、ケーキの1ピースとして考える。今やっている支援を切り替えるのではなく、広げていく方向で考えてください。」という言葉頂きました。皆さんのこれからの支援に少しでもお役に立てることができれば嬉しく思います。

よこはま日本語学習支援センター
Yokohama Nihongo Support Center

横浜市内で活動する日本語学習支援者の方へ
生活Can doを知り、
自分の支援に取り入れてみよう！

日本語ボランティア ブラッシュアップ講座

文化庁がとりまとめた「日本語教育の参照枠」、
その中の「生活Can do」について学び、
実際の支援に活かせることを考えましょう。

**「生活Can do」って、
何だろう？**

**「生活Can do」を自分の
支援に取り入れてみよう！**

講師 吉田聖子さん (人材育成コーディネーター)

定員 25名 (横浜市内の日本語教室等で支援をしている方、これから行う方)

場所 オンライン (Zoom) *IDは前日までにお知らせします。

申込み 11月22日(水)より、メールフォームにて先着順
<https://ws.formzu.net/fgen/S58673805/>

問い合わせ よこはま日本語学習支援センター (運営：(公財)横浜田法人 横浜市国際交流協会)
☎ 045-222-1173 ✉ c-nihongo@yoke.or.jp

テーマ

生活Can doを学ぶ

- 1回目 「生活Can do」って何だろう？
- 2回目 「生活Can do」を自分の支援にとり入れてみよう

講師

吉田聖子さん

(人材育成コーディネーター)

日時

2023年12月11日、18日(月) 10:00-12:00

全2回

場所

オンライン (Zoom)

対象

横浜市内在住・在勤・在学で

日本語支援をしている人、これから支援をする人

参加者数

32人 (のべ参加者数 57人)

1回目：31人 2回目：26人



よこはま日本語学習支援センター

Yokohama Nihongo Support Center

<https://yokohama-nihongo.com>

運営：公益財団法人 横浜市国際交流協会 (YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方
日本語学習をしたい方

「知りたい・やってみたい・つながりたい」
をサポートします！



2023年度日本語ボランティアブラッシュアップ講座 「生活Can doを知り、自分の支援に取り入れてみよう！」

第1日12/11(月)
10:00-12:00

「生活Can do」
って何だろう？

第1日目は小グループに分かれ、2回のワークショップを行いました。1回目のワークショップでは、自己紹介の後、ウェブサイト教材「つながるひろがるにほんごでのくらし」「いろどり:生活の日本語」の感想を共有しました。すでに使用している参加者の方はその使い方を説明したり、それに対して質問など活発な意見交換が行われていました。2回目のワークショップでは、生活Can doについて考えました。まず、12項目に分かれた生活で使用する日本語について、読むこと・書くこと・話すこと(やり取り)・話すこと(発表)に分別し、その難易度を考えてみました。各グループのみなさんがそれぞれ自分の考えを話し、グループで1つの答えを発表しました。その後、講師から生活Can doについての具体的な説明を受け、1回目の講座を終了しました。

第2日12/18(月)
10:00-12:00

「生活Can do」
を自分の支援に
とり入れて
みよう

第2日目も小グループに分かれ、2回のワークショップを行いました。1回目のワークショップでは、2つのケースに必要な日本語を考えてくるという宿題を共有しました。1つ目のケースは「中華街に来た観光客が必要な日本語」、2つ目のケースは「中学校の三者面談に必要な日本語」でした。「今の時代翻訳機などもあるから観光の場合はそんなに日本語は必要としない」「コミュニケーションをとるなら日本語が必要」「通訳がいるから三者面談も日本語なくても大丈夫」「わからない、もっと教えてください等の日本語は必要」など活発な意見交換が行われていました。2回目のワークショップでは、現在の支援活動の中で「生活Can do」をどのように取り入れていくかを話し合いました。みなさんが現在支援している学習者の話をし、悩みや課題を共有しながら今後どのように支援していくのかをアドバイスを交えながら話していました。

みなさんの声
(アンケート
からの抜粋)

- ・学習者の置かれた社会的状況から必要となる Can do を考える、というアプローチが大変重要である、と改めて認識した点が良かったです。
- ・私たちの活動は、生活支援というよりは、日本語コミュニケーション能力の向上をメインとしていますが、その中で生活Can doも取り入れていきたいと思っています。
- ・他のグループで活動されている方活動内容や活動方法を知ることでき参考になりました。



- ・課題を自分で考えて、その後話し合いをして行く中で、学習者ニーズが少しずつ理解できるようになったこと、また、他の方々の活動を知ることが出来てとても参考になりました。
- ・講座を通じて日本語教育の在り方や今後の課題について学ぶことができました。また、私とは違う場所で日本語教育支援を行っている方々との交流はとても貴重でした。



よこはま日本語学習支援センター

Yokohama NIHONGO Support Center

<https://yokohama-nihongo.com>

運営:公益財団法人 横浜市国際交流協会(YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方
日本語学習をしたい方

「知りたい・やってみたい・つながりたい」
をサポートします！

